



発行 (公社)滋賀県サッカー協会  
 専務理事 前田 康一  
 〒524-0212 滋賀県守山市  
 服部町 2439 ビッグレイク内  
 TEL:077-585-0982  
 FAX:077-585-0983  
 e-mail shigafa@oregano.ocn.ne.jp  
 URL http://www.shigafa.com  
 印刷 近江印刷株式会社

## 第27回高円宮杯全日本ユースU-15サッカー選手権大会を終えて

第27回高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会に関西代表(5チーム)として出場いたしました。滋賀県としては6年ぶり5度目の出場となりました。12/19(土)に行われた1回戦では、関東代表の三菱養和栄鴨ジュニアユースに1-0で勝利し、翌12/20(日)の2回戦で東海代表の名古屋グランパスU-15に0-6で敗れ全国大会ベスト16という成績で終わることになりました。滋賀県大会4試合、関西大会5試合、全国大会2試合を3ヶ月にわたり戦ってきましたが、1戦1戦、試合の中で成長していく選手達がいました。チームとして自立する(自ら考えて行動する)ということ掲げていますが、試合を重ねる度に、グラウンドで自立する選手が増えたことが、勝ち上がった要因の1つだと思います。自分がプレーする(させられない)ことの楽しさが見えて伝わってきました。みんな楽しそうにプレーしていました。“サッカーは楽しい”を実践してくれたように思います。それがチームとしての勢いに繋がったのだと思います。

技術的なことで感じたことは、動きながら(スピードにのって)の技術やプレッシャーを受けながらの技術の質(それもゴールを意識した)が関西や全国大会に出場してくるチームは高かったと思います。これは日頃のトレーニングでそういう状況をつくって行ってい

### MIOびわこ滋賀U-15 監督 刃田 貴之

るからだと思うので、いかに試合を想定してトレーニングするかが大切であるということを感じました。

選手達には、この貴重な経験をユース年代で活かしてほしいです。また、我々指導者もこの大会で感じた事を大切に、またこの舞台に立てよう指導していきたいと思えます。

最後になりましたが、関係者の皆様にたくさんの激励をいただきました事を心よりお礼申し上げます。



## 第12回JFAレフェリーキャラバンを終えて

### 審判委員会

下記の要領で標記キャラバンを実施しました。

1 目的 若手審判員の育成強化  
とインストラクター  
の資質向上

2 期 日 2016年(平成28年)  
2月20日(土)・21日(日)

3 会 場 【1日目】守山市中洲公民館 【2日目】立命館守山高校

4 講 師 JFA審判委員会副委員長 黛俊行氏  
1級インストラクター 浅井昭子氏  
プロフェッショナルレフェリー 八木あかね氏

5 対 象 U-22審判員、ユース審判員、2級・3級インストラクター

6 テー マ 【周期】【短期記憶を長期記憶に】【経験知を形式知に】

7 内 容 【審判員】講話、レクチャー&ディスカッション、映像判定  
テスト、プラクティカルトレーニング、自己分析  
【INS】チュータリング、試合分析、プラクティカルトレ  
ーニング指導



このキャラバンでは、若手審判員は新しい知識と多くの刺激を受けることができました。インストラクターは多様な指導方法と審判指導のポイントを学ぶことができました。

8年後の滋賀国体に向けて、さらに審判員の強化とインストラクターの資質向上の取り組みをすすめていく必要性を強く感じたレフェリーキャラバンでした。



## 事務局からのお知らせ

### (1) JFAマッチコミッショナー制度について

来年度からは、大会にマッチコミッショナーをおく場合、JFAの研修を受けた有資格者しかマッチコミッショナーができないことになりました。滋賀県も有資格者の育成をすすめていきます。詳細は、協会HPの専門委員会・施設・競技をご覧ください。

### (2) ユニフォーム規程の変更について

来年度から、JFAのユニフォーム規程が改訂されました。新しくユニフォームを作られる場合は、確認して作ってください。詳細はJFAのHPをご覧ください。

## 第5回滋賀県サッカーカンファレンス開催

技術委員長 梅田 英幸

### 【カンファレンスの目的】

滋賀県のサッカーに関わる者(関係者、選手、指導者、審判等)が一堂に集い研修することで、滋賀県のサッカーの発展に寄与することであります。

### 【主な内容】

12月20日(土)

- 講義① 「3種年代のTSG報告」
- 指導実践・実技 「県トレセンU-13トレーニング」
- 講義② 「2024国体に向けて…キッズ委員会」

1日目は、県トレセンU-13の選手とスタッフ、受講生が、「3種年代のTSG報告」をテーマに、JFAナショナルトレセンコーチの菊池彰人氏から講義①を受けました。映像中心であったので理解しやすい内容でした。そして、Cピッチにて指導実践が行われました。天候も良く、選手は生き生きとプレーしていました。受講生は同じメニューで実技をし、意見交換、質疑応答も行いました。また、キッズ委員長による「2024国体に向けて」の講義②がありました。現在のキッズ年代が国体時に活躍できるよう、楽しさと質を追求した取り組みが必要だということでした。



12月21日(日)

- 研修会 「審判との協調」
- 講義③ 「滋賀県TSG報告」
- 講義④ 「女子委員会より」
- 分科会 「指導における課題や工夫」

2日目は、「審判との協調」ということで、1級審判員の植田文平氏から審判員の生活や求められる要素、姿勢について話がありま

した。知らなかったことも多くあり、審判員に対するリスペクトを考え直す機会となりました。講義③では、昨年度に立ち上げた滋賀県TSGの報告がありました。昨年に提示された「守備の強化」の成果、次年度に向けて「守備の更なる強化」「攻守の切り替え」「攻撃」の提示がありました。講義④では、女子委員会から、県外流出や中高生年代の受け皿の課題などの現状報告と、滋賀国体に向けての取り組みの報告がありました。滋賀国体を機に普及と強化の見直しが約束されました。分科会のディスカッションでは、種別を越えた交流の場として大変好評で、滋賀県のベクトルを合わせるためにも必要だと再認識しました。



### 【まとめ】

2日間を通して、のべ100名程のサッカー仲間が交流、情報交換ができ、滋賀県のベクトル合わせに少しは繋がったと思う反面、より多くのサッカー仲間に参加していただきたいと強く思いました。次年度も同時期の開催を考えておりますので、是非ご参加下さい。



## キッズ委員会から



キッズ委員長 杉本 聡

2002年FIFAワールドカップ日韓大会の翌年からキッズプロジェクトを開始しました。現在キッズの取り組みは、普及ではフェスティバル、巡回指導、キッズリーダー講習会、育成では

キッズエリート養成の活動に取り組んでいます。

そして現在我々の担当するU-8、U-9(小学1、2年生)年代は、8年後に開催されます滋賀国体のターゲットエイジとなります。この年代は、サッカーのテクニックの習得、神経系の発達に刺激を与え、自分の体を自分でコントロールできるようになる年代です。この年代でしっかりと動きづくりとボールフィーリング、コーディネーション等を身につけておくことが重要です。

“キッズ”でもただボールを使って遊ぶのではなく、“楽しさと質”の追求をしていかなければなりません。キッズ年代に必要なテクニック等を習得するためには、よりたくさんの指導者がキッズ

との関わりを持ち、育成していく必要があります。平成28年度からは、国体に向けたキッズサッカー教室を開催し、より良い環境でキッズがサッカーに取り組めるよう努めていきたいと思っています。今だからこそ習得できることがたくさんある年代ですので、ぜひ、キッズ年代の指導に多くの指導者が携っていただきたいと思っています。

昨年には、関西キッズ委員会が立ち上がり、更なるキッズ年代の普及・発展を目的に、関西のFAが協力・連携しながらたくさんの事業に取り組んでいます。滋賀県から世界、全国で活躍できる選手が育つように、指導者が一体感を持って、今後の普及・育成に取り組んでいきたいと思っています。

